



バラの会
本田 みえ 議員

問 ノーマライゼーションの取り組み

Q 聴覚障がい者について、手話通訳者の設置は、必須事業。市の対応は。

A 全国手話言語市区長会のメンバーでもあり、手話言語条例を早いうちに提案したく、今準備をしている。

Q 他市でも、手話通訳者の人材不足が課題。本市はどうするのか。

A 手話言語条例を制定する動きが、周辺の市にも見えてきている。周辺の市と一緒に、手話通訳の講習会等ができないか働きかけてみたい。

Q 条例制定には、当事者、関係者の声を反映して欲しい。

A 関係機関と、十分意見を出し合い検討し、制定に向けて進めていきたい。

Q 身体障がい者について、新庁舎の多目的トイレの広さ、機能は十分か。

A コンパクトな中にも、最大限の配慮をしている。サポート体制も整え対応したい。

問 犯罪被害者支援の取り組み

Q 佐世保市は条例を制定し、警察署と協定を結び、ワンストップの取り組みをしている。本市の取り組みは進んでいるのか。

A 県の動きとそごがないように、市のセーフティーネットを目指していきたい。

問 築城400年祭

Q 実行委員会のメンバーには、若手の起用を。

A 地域の若者、経済界の若手、女性など、検討させて欲しい。

【その他の質問項目】

◇受動喫煙について

◇高齢社会と公共交通



日本共産党
島田 一徳 議員

【関連質問】

問 公共施設の総合管理計画

Q 総合管理計画は、市民と膝を突き合わせて論議し、市民目線と思うが、どう考えているのか。

A 昨年の市長を囲む懇談会で説明をした。個別計画は、当該施設について市民にお示ししなければいけない。

Q 公共施設を存続か、統合か、廃止か、いろいろな選択があると思うが、どのような状況なのか。

A 人口が減少していく中で、どういう公共施設を維持管理するかが大原則である。現状のままであれば、今後40年間で350億円不足する。

Q 市民の声の集約を、もっと丁寧に的確にしてみたい。

A パブリックコメントは、現在行っている各関係団体との協議終了後に実施したい。より多くの市民が参加できるように工夫をしてみたい。



庶民の会
種村 繁徳 議員

【関連質問】

問 小学校体育大会

Q 小学校体育大会が、中止になった経緯を再度おたずねしたい。

A 新学習指導要領で外国語科と外国語活動が週1時間ふえる。子供たちの負担軽減と授業時数の確保のために学校行事の見直しを図った。

Q 予算を理由に中止という誤解も広まっている。理由の周知徹底と対応はどうするのか。

A 保護者には書面で、子供たちには学校を通じて、小学校体育大会の中止をやむなく決定したと伝えたい。

Q 教育予算は人口減少に歯止めをかける先行投資と思う。予算の確保についてどのように考えているのか。

A 政策的な教育要望を反映する予算編成をしている。保護者や地域の声を十分聴いて調整を図り、慎重かつ将来への投資としても考えていきたい。